

勸善懲惡錦回解

第廿二編

大へる儲とせんと思ひの
 必大へる仕損し有りぬ
 運八天満の第四大区三丁目
 へてとりとめもな心空町
 二丁目の中西源藏と不者
 米相場一六線の有石町の
 佐木卯共方と金六平内
 借請其外所まで
 三百八十円余と覺て
 堂嶋で下儲と思ひの
 元も粉も失大損を
 女房、堅きも若とて
 多懸意の先々で借
 金も有故不言、訣を
 六月十吾の夜天満橋
 投んとする所へ夫源藏
 相場不負た六外の
 五外をたのまん念
 んとする所へ付来
 次良兵衛
 説諭して危き事



時習言述

時習言述

出版所

本町